

南部町福祉に関するアンケート調査 結果報告書

令和 6 年1月

南部町 福祉介護課

第 1 章 調査実施の概要

1. 調査の目的

この調査は、南部町の第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画の策定に向けて、その基礎資料とすることを目的に、町内に居住する障がいのある人の生活状況や福祉サービス等に関する利用実態、福祉に関する意識・意向等を把握するため調査したものです。

2. 調査の実施方法と回収状況

調査対象者	調査方法	対象者	回収数 (回収率)
町内に居住する障害者手帳（身体、愛護（療養）、精神）所有者	郵送調査	588	284 (48.3%)

※対象者は無作為による抽出（600人）としたが、宛名不明等により12件が返送されたことにより、実対象者は588人となった。

3. 電算処理の注意点

調査結果の数値については小数点第2位以下を四捨五入しているため、内訳を合計しても100%に合致しない場合があります。また、複数回答が可能な諮問では、各項目の割合の合計が100%を超える場合があります。

なお、基礎となる実数は「n」として掲載し、各グラフや表の比率は「n」を分母とした割合をしめしています。

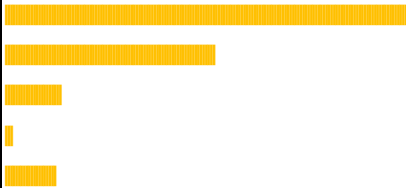
福祉に関するアンケート調査 集計結果

調査結果Ⅰ 年齢・性別・家族などについて

問1 お答えいただくのはどなたですか？

調査に回答した人は「本人」が最も多く、約半数の回答に本人の意向が反映されています。

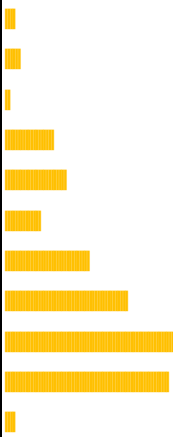
回答内容	人数	割合
本人	157人	55.3%
家族	82人	28.9%
施設・病院職員	22人	7.7%
その他()	3人	1.1%
未回答	20人	7.0%
計	284人	100%



問2 あなたの年齢をお答えください。(令和5年4月1日現在)

年齢の区分では「70歳代」の方の回答が最も多く、62.7%が60歳以上の回答となっています。
高校生以下の回答は4.2%にとどまっています。

回答内容	人数	割合
0歳～小学校入学前	4人	1.4%
小学生	6人	2.1%
中学生・高校生	2人	0.7%
18歳～29歳	19人	6.7%
30歳～39歳	24人	8.5%
40歳～49歳	14人	4.9%
50歳～59歳	33人	11.6%
60歳～69歳	48人	16.9%
70歳～79歳	66人	23.2%
80歳以上	64人	22.5%
未回答	4人	1.4%
計	284人	100%



問3 あなたの性別をお答えください。

性別の割合では「男性」が54.9%、「女性」が44.4%となっています。

回答内容	人数	割合
男性	156人	54.9%
女性	126人	44.4%
未回答	2人	0.7%
計	284人	100%

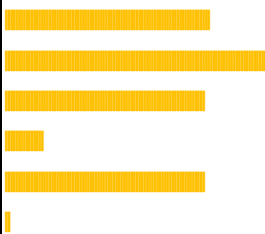


問4 いま、あなたが一緒に暮らしているのはどなたですか？

家族構成では、「配偶者」と一緒に暮らしている人が28.7%と最も多く、約2割の人が「いない(一人で暮らしている)」と回答しています。

その他の回答は「孫」「義母」「子の配偶者」「甥の家族」などがありました。

回答内容	人数	割合
父母・祖父母・兄弟姉妹	80人	22.5%
配偶者(夫または妻)	102人	28.7%
子ども	78人	22.0%
その他()	15人	4.2%
いない(一人で暮らしている)	78人	22.0%
未回答	2人	0.6%
計	355人	100%

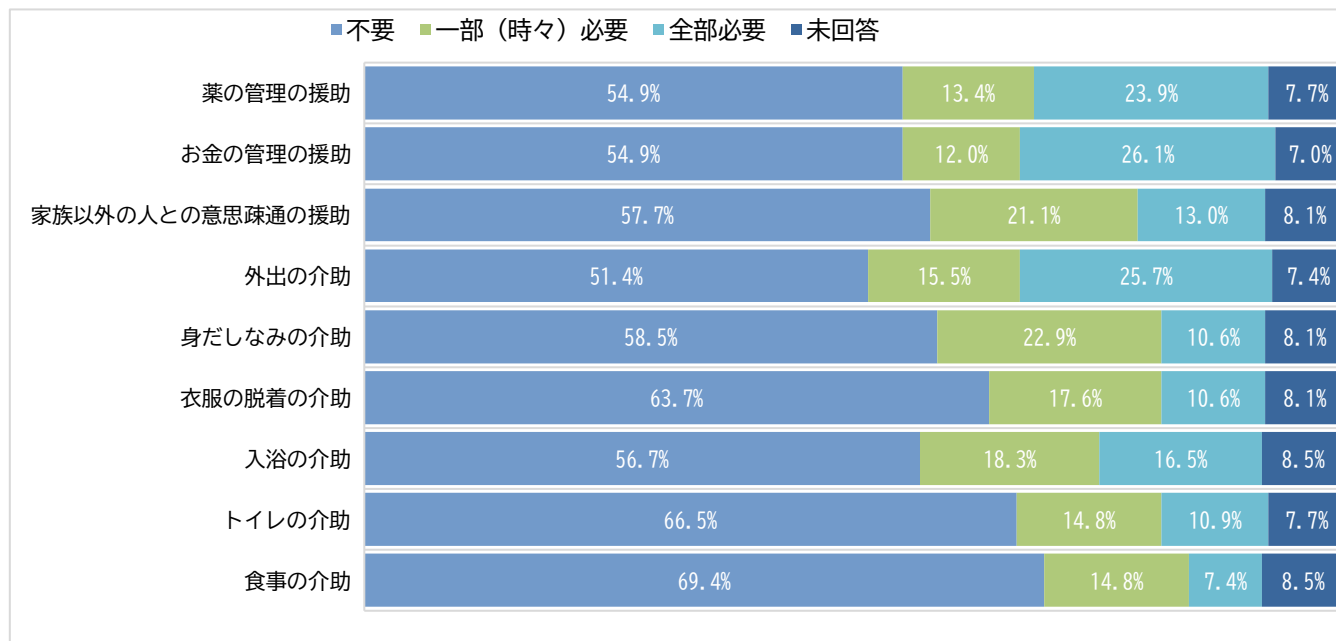


福祉に関するアンケート調査 集計結果

問5 日常生活の中で次の支援が必要ですか？(各項目それぞれ一つを選択)

日常生活において「支援が不要(一人で行える)」が多く選択された項目は、「食事の介助(69.4%)」「家の中の移動の介助(68.7%)」「トイレの介助(66.5%)」と続き、一方、「全部必要(いつも支援が必要)」が多く選択された項目は、「お金の管理の援助(26.1%)」「外出の介助(25.7%)」「薬の管理の援助(23.9%)」となっています。

回答項目	回答内容				
	不要	一部(時々)必要	全部必要	未回答	計
食事の介助	197	42	21	24	284
トイレの介助	189	42	31	22	284
入浴の介助	161	52	47	24	284
衣服の脱着の介助	181	50	30	23	284
身だしなみの介助	166	65	30	23	284
家の中の移動の介助	195	34	32	23	284
外出の介助	146	44	73	21	284
家族以外の人との意思疎通の援助	164	60	37	23	284
お金の管理の援助	156	34	74	20	284
薬の管理の援助	156	38	68	22	284



問6 あなたを支援してくれる方は主に誰ですか？(複数選択)

※問5で「一部(時々)必要」「全部必要」と答えた人が回答

日常生活において主に支援してくれる人は、「ホームヘルパーや施設の職員(34.6%)」が最も多く、続いて「父母・祖父母・兄弟姉妹(23.0%)」「配偶者(21.5%)」となっています。

回答内容	人数	割合
父母・祖父母・兄弟姉妹	44人	23.0%
配偶者(夫または妻)	41人	21.5%
子ども	30人	15.7%
ホームヘルパーや施設の職員	66人	34.6%
その他の人(ボランティア等)	2人	1.0%
未回答	8人	4.2%
計	191人	100%

福祉に関するアンケート調査 集計結果

問7 あなたを支援してくれる家族で、主な方の年齢、性別、健康状態をお答えください。

※問6で「父母・祖父母・兄弟姉妹」「配偶者」「子ども」と答えた人が回答

①年齢

日常生活において主に支援してくれる家族の年齢は、「60歳代(30.3%)」が最も多く、「70歳代(21.1%)」と続いています。
(最年少者19歳、最高齢者87歳)

回答内容	人数	割合
18歳～29歳	3人	2.8%
30歳～39歳	8人	7.3%
40歳～49歳	12人	11.0%
50歳～59歳	18人	16.5%
60歳～69歳	33人	30.3%
70歳～79歳	23人	21.1%
80歳以上	6人	5.5%
未回答	6人	5.5%
計	109人	100%

②性別

日常生活において主に支援してくれる家族の約7割は「女性(67.9%)」となっています。

回答内容	人数	割合
男性	32人	29.4%
女性	74人	67.9%
未回答	3人	2.8%
計	109人	100%

③健康状態

日常生活において主に支援してくれる家族の健康状態は、「よい(24.8%)」「ふつう(61.5%)」ですが、約1割の人が「よくない(11.9%)」と回答しており、体調がすぐれない家族が支援する世帯も見受けられます。

回答内容	人数	割合
よい	27人	24.8%
ふつう	67人	61.5%
よくない	13人	11.9%
未回答	2人	1.8%
計	109人	100%

福祉に関するアンケート調査 集計結果

調査結果Ⅱ 障害の状況について

問8 あなたがお持ちの身体障害者手帳の等級はどれですか？

回答者の69.4%が身体障害者手帳の所持者で、そのうち1級所持者が27.1%と最も多くなっています。

回答内容	人数	割合
1級	77人	27.1%
2級	43人	15.1%
3級	28人	9.9%
4級	33人	11.6%
5級	13人	4.6%
6級	3人	1.1%
その他()	13人	4.6%
持っていない	30人	10.6%
未回答	44人	15.5%
計	284人	100%

問9 身体障害者手帳の主たる障害をお答えください。

身体障害者の種別では「内部障害(33.3%)」「肢体不自由(下肢)(21.3%)」が多くなっています。

回答内容	人数	割合
視覚障がい	12人	5.0%
聴覚障がい	13人	5.4%
音声・言語・そしゃく機能障がい	8人	3.3%
肢体不自由(上肢)	26人	10.8%
肢体不自由(下肢)	51人	21.3%
肢体不自由(体幹)	11人	4.6%
内部障害(1～6以外)	80人	33.3%
未回答	39人	16.3%
計	240人	100%

問10 あなたは愛護手帳(療育手帳)をお持ちですか？

回答者のうち愛護手帳(療育手帳)の所持者は23.9%で、手帳所持者の約6割が「B(中度・軽度)」となっています。

回答内容	人数	割合
A(最重度・重度)	26人	9.2%
B(中度・軽度)	42人	14.8%
知的障害があるが愛護手帳を持っていない	2人	0.7%
持っていない	175人	61.6%
未回答	39人	13.7%
計	284人	100%

問11 あなたは精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか？

回答者のうち精神障害者保健福祉手帳の所持者は14.1%で、手帳所持者の約6割が「2級」となっています。

回答内容	人数	割合
1級	8人	2.8%
2級	25人	8.8%
3級	7人	2.5%
精神障害があるが愛護手帳を持っていない	5人	1.8%
持っていない	208人	73.2%
未回答	31人	10.9%
計	284人	100%

福祉に関するアンケート調査 集計結果

問12 あなたは重症心身障害の認定を受けていますか？

※18歳未満の人のみ回答

18歳未満の回答者12人のうち、2人が重症心身障害の認定を受けていると回答しています。

回答内容	人数	割合
受けている	2人	16.7%
受けていない	10人	83.3%
未回答		0.0%
計	12人	100%

問13 あなたは難病(指定難病)の認定を受けていますか？

回答者のうち4.2%の人が指定難病の認定を受けていると回答しています。

回答内容	人数	割合
受けている	12人	4.2%
受けていない	218人	76.8%
未回答	54人	19.0%
計	284人	100%

問14 あなたは発達障害として診断されたことがありますか？

回答者のうち7.7%の人が発達障害として診断されたことがあると回答しています。

回答内容	人数	割合
ある	22人	7.7%
ない	230人	81.0%
未回答	32人	11.3%
計	284人	100%

問15 あなたは高次脳機能障害として診断されたことがありますか？

回答者のうち6.7%の人が高次脳機能障害として診断されたことがあると回答しています。

回答内容	人数	割合
ある	19人	6.7%
ない	232人	81.7%
未回答	33人	11.6%
計	284人	100%

問16 その関連障害を教えてください。(複数選択)

※問15で「ある」と答えた人が回答

高次脳機能障害として診断された関連障害としては、「音声・言語・そしゃく機能障がい」と「肢体不自由(下肢)」が22.2%と同率で最も多くなっています。

回答内容	人数	割合
視覚障がい	2人	5.6%
聴覚障がい	3人	8.3%
音声・言語・そしゃく機能障がい	8人	22.2%
肢体不自由(上肢)	7人	19.4%
肢体不自由(下肢)	8人	22.2%
肢体不自由(体幹)	5人	13.9%
内部障害(1～6以外)	2人	5.6%
未回答	1人	2.8%
計	36人	100%

福祉に関するアンケート調査 集計結果

問17 あなたは現在医療的ケアを受けていますか？

回答者のうち25.4%の人が現在医療的ケアを受けていると回答しています。

回答内容	人数	割合	
受けている	72人	25.4%	
受けていない	175人	61.6%	
未回答	37人	13.0%	
計	284人	100%	

問18 あなたが現在受けている医療的ケアをお答えください。

※問17で「受けている」と答えた人が回答

医療的ケアの内容として、「服薬管理(45.5%)」が最も多くなっています。

回答内容	人数	割合	
気管切開	1人	1.1%	
人工呼吸器(レスピレーター)	1人	1.1%	
吸入	2人	2.3%	
吸引	3人	3.4%	
胃ろう・腸ろう	1人	1.1%	
鼻腔経管栄養	0人	0.0%	
中心静脈栄養(IVH)	1人	1.1%	
透析	7人	8.0%	
カテーテル留置	7人	8.0%	
ストマ(人工肛門・人工膀胱)	8人	9.1%	
服薬管理	40人	45.5%	
その他	11人	12.5%	
未回答	6人	6.8%	
計	88人	100%	

福祉に関するアンケート調査 集計結果

調査結果Ⅲ 住まいや暮らしについて

問19 あなたは現在どのように暮らしていますか。

現在の暮らし方としては、「家族と暮らしている(69.0%)」が約7割を占めています。

※「その他()」の記入として、「二世帯住宅(1件)」とされたものは、「家族と暮らしている」と統合。
自宅・居住地名といった判断がつかない回答もありました。

回答内容	人数	割合
一人で暮らしている	39人	13.7%
家族と暮らしている	196人	69.0%
グループホームで暮らしている	12人	4.2%
福祉施設(障害者支援施設、高齢者支援施設)で暮らしている	26人	9.2%
病院に入院している	5人	1.8%
その他()	2人	0.7%
未回答	4人	1.4%
計	284人	100%

問20 あなたは今後3年以内にどのような暮らしをしたいと思いますか？

今後の暮らし方としては、「家族と一緒に生活したい(61.6%)」が最も多くなっています。

※「その他()」の記入として、「病院(2件)」「目標はない・わからない(4件)」などの回答がありました。

回答内容	人数	割合
一般の住宅でひとり暮らしをしたい	34人	12.0%
家族と一緒に生活したい	179人	63.0%
グループホームなどを利用したい	15人	5.3%
福祉施設(障害者支援施設、高齢者支援施設)で暮らしたい	28人	9.9%
その他()	9人	3.2%
未回答	19人	6.7%
計	284人	100%

問21 希望する暮らしを送るために、どのような支援があればよいと思いますか？

「経済的な負担の軽減(21.6%)」が最も多く、次いで「必要な在宅サービスが適切に利用できること(14.9%)」「相談対応などの充実(14.0%)」の支援が求められています。

回答内容	人数	割合
在宅で医療的ケアなどが適切に得られること	71人	10.8%
障害者に適した住居の確保	52人	7.9%
必要な在宅サービスが適切に利用できること	98人	14.9%
生活訓練等の充実	41人	6.3%
経済的な負担の軽減	142人	21.6%
相談対応などの充実	92人	14.0%
地域住民などの理解	51人	7.8%
コミュニケーションについての理解	50人	7.6%
その他()	23人	3.5%
未回答	36人	5.5%
計	656人	100%

【その他の意見】

○外出の支援 ○子育て支援・相談就職支援 ○公共施設における洋式トイレの充実(学校施設も含む) ○食事の支度は可能でも床・天井や高いところなどドクターストップあり。○庭の草取り、木々の手入れなどは全て業者に依頼するので経済的な負担がある。○支援を望む前に自分で出来ることは自分でやる事を目的としている ○特に支援を必要としない

福祉に関するアンケート調査 集計結果

調査結果Ⅳ 日中活動や就労について

問22 あなたは、1週間にどの程度外出しますか？

約7割近くの方が「毎日外出する(26.1%)」「1週間に数回外出する(41.5%)」と外出する人が多い一方、「まったく外出しない(8.8%)」と回答した人も約1割となっています。

回答内容	人数	割合
毎日外出する	74人	26.1%
1週間に数回外出する	118人	41.5%
めったに外出しない	57人	20.1%
まったく外出しない	25人	8.8%
未回答	10人	3.5%
計	284人	100%

問23 あなたが外出する際の主な同伴者は誰ですか？

※問22で「毎日外出する」「1週間に数回外出する」「めったに外出しない」と答えた人が回答

「一人で外出する(28.9%)」が最も多く、次いで「配偶者(18.1%)」「ホームヘルパーや施設の職員(14.9%)」となっています。

回答内容	人数	割合
父母・祖父母・兄弟姉妹	32人	12.9%
配偶者(夫または妻)	45人	18.1%
子ども	22人	8.8%
ホームヘルパーや施設の職員	37人	14.9%
その他の人(ボランティア等)	1人	0.4%
一人で外出する	72人	28.9%
未回答	40人	16.1%
計	249人	100%

問24 あなたは、どのような目的で外出することが多いですか？(複数選択)

※問22で「毎日外出する」「1週間に数回外出する」「めったに外出しない」と答えた人が回答

「医療機関への受診(27.7%)」「買い物に行く(25.7%)」が多く、続いて「通勤・通学・通所(11.5%)」「散歩に行く(9.1%)」が多くなっています。

※「その他()」の回答としては、「子どもの送迎」「ドライブ」「銀行」などの回答がありました。

回答内容	人数	割合
通勤・通学・通所	62人	11.5%
訓練やリハビリに行く	21人	3.9%
医療機関への受診	149人	27.7%
買い物に行く	138人	25.7%
友人・知人に会う	33人	6.1%
趣味やスポーツをする	31人	5.8%
グループ活動に参加する	12人	2.2%
散歩に行く	49人	9.1%
その他()	13人	2.4%
未回答	30人	5.6%
計	538人	100%

福祉に関するアンケート調査 集計結果

問25 外出するときに困ることは何ですか？(複数選択)

※問22で「毎日外出する」「1週間に数回外出する」「めったに外出しない」と答えた人が回答

「公共交通機関が少ない(ない)(12.9%)」が最も多く、次いで「外出にお金がかかる(9.6%)」「困った時にどうすればいいか心配(9.6%)」が同率となっています。

回答内容	人数	割合
公共交通機関が少ない(ない)	55人	12.9%
電車やバスの乗り降りが困難	34人	7.9%
道路や駅に階段や段差が多い	36人	8.4%
切符の買い方や乗り換えの方法がわかりにくい	22人	5.1%
外出先の建物の設備が不便(通路・トイレ・エレベーターなど)	30人	7.0%
介助者が確保できない	23人	5.4%
外出にお金がかかる	41人	9.6%
周囲の目が気になる	24人	5.6%
発作など突然の身体の変化が心配	26人	6.1%
困った時にどうすればいいか心配	41人	9.6%
その他()	32人	7.5%
未回答	64人	15.0%
計	428人	100%

【その他の意見】

○耳が遠いので会話にならない ○目が見えないので外に出るときは常に不安 ○長時間座ってられない ○車イスの生活で介助がないと、外出はできない ○車の乗り降りが大変なこと ○車の運転。○雪道を一人で車を運転するのが怖い。○歩道が波打っていたり、斜度があり歩きにくい ○近所の散歩以外一人では外出できない ○限られた空間で人が多いところに行くと体調不良になるのでバスが使えない。○子に負担をかけて申し訳ない。○施設職員の介助があるので安心 ○特に困ることはない

問26 あなたは平日の日中を主にどのように過ごしていますか？

「自宅で過ごしている(39.1%)」が最も多く、次いで「会社勤めや自営業、家業などで収入を得る仕事をしている(16.5%)」「入所している施設や病院等で過ごしている(13.7%)」が多くなっています。

回答内容	人数	割合
会社勤めや自営業、家業などで収入を得る仕事をしている	47人	16.5%
ボランティア等、収入を得ない仕事をしている	2人	0.7%
専業主婦(主夫)をしている	21人	7.4%
福祉施設、作業所等に通っている	23人	8.1%
病院などのデイケアに通っている	9人	3.2%
リハビリテーションを受けている	1人	0.4%
自宅で過ごしている	111人	39.1%
入所している施設や病院等で過ごしている	39人	13.7%
大学・専門学校・職業訓練校などに通っている	0人	0.0%
特別支援学校(小・中・高等部)に通っている	5人	1.8%
一般の高校、小中学校に通っている	3人	1.1%
幼稚園、保育所、障害児通園施設などに通っている	3人	1.1%
その他()	8人	2.8%
未回答	12人	4.2%
計	284人	100%

【その他の意見】

○農作業の手伝い ○両親の介護。○月・水・金は透析、火・木は有償ボランティア ○趣味 ○入院中である ○就労移行支援事業所 ○デイサービスで週3回入浴目的で通っている

福祉に関するアンケート調査 集計結果

問27 どのような勤務形態で働いていますか？

※問26で「会社勤めや自営業、家業などで収入を得る仕事をしている」と答えた人が回答

「自営業、農林水産業など(36.7%)」「パート・アルバイト等の非常勤職員、派遣職員(34.7%)」が多く、次いで「正職員で他の職員と勤務条件等に違いはない(16.3%)」が多くなっています。

回答内容	人数	割合
正職員で他の職員と勤務条件等に違いはない	8人	16.3%
正職員で短時間勤務などの障害者配慮がある	4人	8.2%
パート・アルバイト等の非常勤職員、派遣職員	17人	34.7%
自営業、農林水産業など	18人	36.7%
その他()	1人	2.0%
未回答	1人	2.0%
計	49人	100%

※「その他 ()」1件は未記入。

問28 あなたは今後、収入を得る仕事をしたいと思いますか？

※問26で「会社勤めや自営業、家業などで収入を得る仕事をしている」以外と答えた人が回答

「自営業、農林水産業など(36.7%)」「パート・アルバイト等の非常勤職員、派遣職員(34.7%)」が多く、次いで「正職員で他の職員と勤務条件等に違いはない(16.3%)」が多くなっています。

回答内容	人数	割合
仕事をしたい	48人	21.2%
仕事はしたくない、できない	142人	62.8%
未回答	36人	15.9%
計	226人	100%

問29 収入を得る仕事をするために、職業訓練などを受けたいと思いますか？

※問28で「仕事をしたい」と答えた人が回答

「すでに職業訓練を受けている(6.1%)」「職業訓練を受けたい(30.6%)」と職業訓練に意欲のある人が36.7%となっている一方、「職業訓練を受けたくない、受ける必要はない(53.1%)」と答えた人は約5割となっています。

回答内容	人数	割合
すでに職業訓練を受けている	3人	6.1%
職業訓練を受けたい	15人	30.6%
職業訓練を受けたくない、受ける必要はない	26人	53.1%
未回答	5人	10.2%
計	49人	100%

問30 あなたはどのような仕事をやってみたいと思いますか？

また、今までにどのような仕事をやったことがありますか？

※問29で「すでに職業訓練を受けている」と答えた人が回答

これからやってみたい仕事	今までにやったことがある仕事
発掘	建築
清掃	タオルたたみ、農家の手伝い、草取り
畑で体を動かす仕事	介護職
分からない	運転手
	にんにくバラシ、畑の仕事全般
4人	5人

福祉に関するアンケート調査 集計結果

問31 あなたは障害者の就労支援として、どのような事が必要だと思いますか？（複数選択）

「職場の障害者理解(11.0%)」「職場の上司や同僚に障害への理解があること(10.9%)」と職場に理解を求める回答が約2割と多く、次いで「勤務時間や日数が体調に合わせて変更できること(10.1%)」「具合が悪くなったときに気軽に通院できること(9.5%)」の体調に合わせた勤務を望む回答が多く見受けられます。

回答内容	人数	割合	
通勤手段の確保	91人	9.1%	
勤務場所におけるバリアフリー等の配慮	42人	4.2%	
短時間勤務や勤務日数等の配慮	90人	9.0%	
勤務時間や日数が体調に合わせて変更できること	101人	10.1%	
在宅勤務の拡充	51人	5.1%	
職場の障害者理解	110人	11.0%	
職場の上司や同僚に障害への理解があること	109人	10.9%	
職場で介助や援助が受けられること	62人	6.2%	
具合が悪くなったときに気軽に通院できること	95人	9.5%	
就労後のフォローなど職場と支援機関の連携	55人	5.5%	
企業ニーズにあった就労訓練	37人	3.7%	
仕事についての職場外での相談対応、支援	48人	4.8%	
その他()	20人	2.0%	
未回答	86人	8.6%	
計	997人	100%	

【その他の意見】

○自分の気持ちを伝えることができないため、気持ちの置き場が分かってほしい ○就職したくても、就職先がない。就労支援A型に行きましたが、1日4~5時間、20日勤務で月5万ぐらいの収入だと生活ができなくて退職しました。○賃金等の待遇面 ○ケンカになる様な行動をしなければよい ○具体的な障害がはっきりしないと、支援といわれても分からない ○特になし

福祉に関するアンケート調査 集計結果

調査結果Ⅴ 相談相手について

問32 あなたは、普段、悩みや困ったことをどなたに相談しますか？(複数選択)

「家族や親せき(39.1%)」が最も多く全体の約4割を占めており、次いで「友人・知人(11.9%)」「かかりつけの医師や看護師(11.5%)」「施設の職員(10.2%)」となっています。
その他の回答としては、「自助グループ」の回答があったほか、「相談する人がいない」「相談できない」「誰にも相談しない」といった回答もありました。

回答内容	人数	割合	
家族や親せき	200人	39.1%	
友人・知人	61人	11.9%	
近所の人	11人	2.2%	
職場の上司や同僚	12人	2.3%	
施設の職員	52人	10.2%	
ホームヘルパーなどサービス事業所の人	21人	4.1%	
障害者団体や家族会	1人	0.2%	
かかりつけの医師や看護師	59人	11.5%	
病院のケースワーカーや介護保険のケアマネージャー	20人	3.9%	
民生委員・児童委員	4人	0.8%	
通園施設や保育所、幼稚園、学校の先生	4人	0.8%	
相談支援事業所などの民間の相談窓口	28人	5.5%	
役場の相談窓口	11人	2.2%	
その他()	10人	2.0%	
未回答	17人	3.3%	
計	511人	100%	

問33 あなたは障害のことや福祉サービスなどに関する情報を、どこから知ることが多いですか？(複数選択)

「家族や親戚、友人・知人(17.0%)」が最も多く、次いで「本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース(15.4%)」「行政機関の広報誌(15.1%)」多くなっています。
「その他()」のでは、「自助グループ」「自分から調べる事がない」「相談したいが誰も来ない」などの回答がありました。

回答内容	人数	割合	
本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース	89人	15.4%	
行政機関の広報誌	87人	15.1%	
インターネット	44人	7.6%	
家族や親戚、友人・知人	98人	17.0%	
サービス事業所の人や施設職員	51人	8.8%	
ホームヘルパーなどサービス事業所の人	17人	2.9%	
かかりつけの医師や看護師	58人	10.0%	
病院のケースワーカーや介護保険のケアマネージャー	26人	4.5%	
民生委員・児童委員	4人	0.7%	
通園施設や保育所、幼稚園、学校の先生	7人	1.2%	
相談支援事業所などの民間の相談窓口	33人	5.7%	
役場の相談窓口	35人	6.1%	
その他()	9人	1.6%	
未回答	20人	3.5%	
計	578人	100%	

福祉に関するアンケート調査 集計結果

調査結果Ⅵ 障害福祉サービスの利用について

問34 あなたは障害支援区分の認定を受けていますか？

回答者のうち、16.2%が障害支援区分の認定を受けていると回答しており、そのうち「区分6(4.2%)」が最も多くなっています。

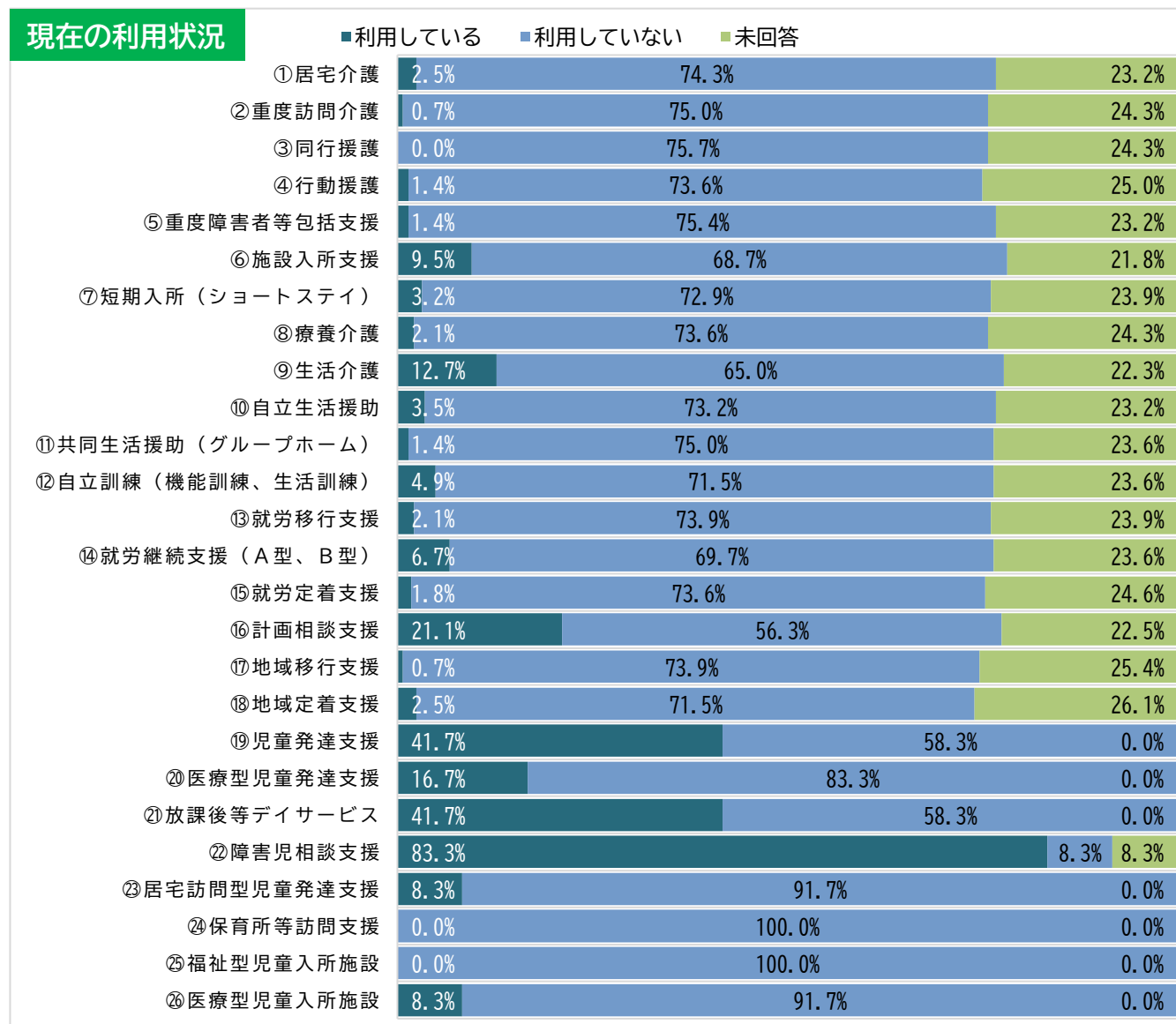
回答内容	人数	割合
区分1	4人	1.4%
区分2	8人	2.8%
区分3	9人	3.2%
区分4	7人	2.5%
区分5	6人	2.1%
区分6	12人	4.2%
受けていない	172人	60.6%
未回答	66人	23.2%
計	284人	100%

問35 あなたは次のサービスを利用していますか？また、これから利用する予定はありますか？

※「①～⑮」=全回答者(284人)、「⑯～㉔」=18歳未満の人のみ(12人)

多くの人は障害福祉サービスを利用していないと回答していますが、全体的な障害福祉サービス(①～⑮)においては「⑮計画相談支援(21.1%)」「⑨生活介護(12.7%)」が多く利用されています。

また、障害児サービス(⑯～㉔)では、「㉒障害児相談支援(83.3%)」が最も多く、続いて「⑲児童発達支援」「㉑放課後等デイサービス」が41.7%と多く利用されています。

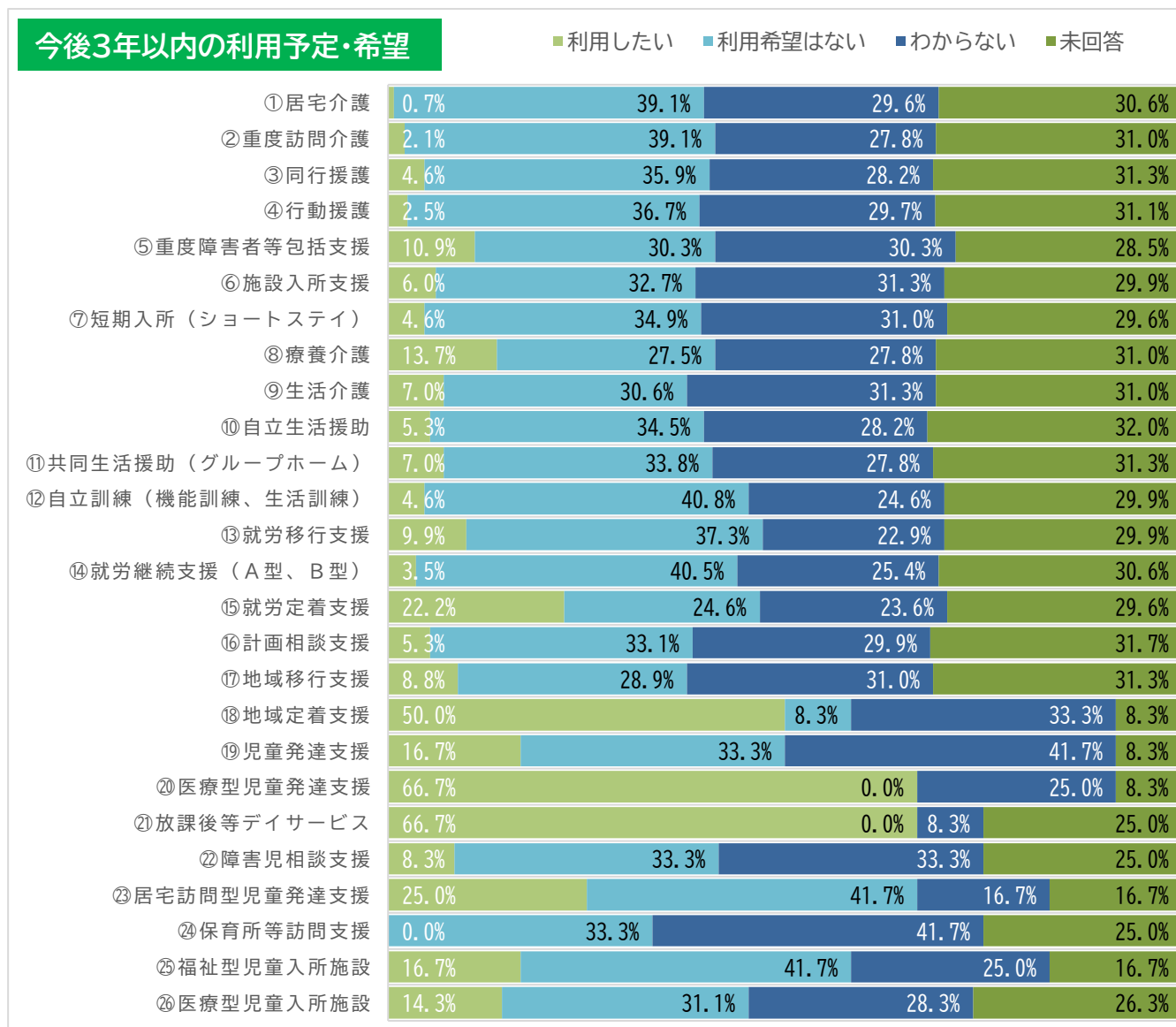


福祉に関するアンケート調査 集計結果

(問35続き)

今後3年以内利用予定や希望として、全体的な障害福祉サービス(①～⑱)においては「⑱地域定着支援(50.0%)」「⑮就労定着支援(22.2%)」が多く希望されています。

また、障害児サービス(⑳～㉔)では、「㉔医療型児童発達支援」「㉑放課後等デイサービス」が66.7%と多く希望されています。



福祉に関するアンケート調査 集計結果

問36 あなたは介護保険によるサービスを利用していますか？

回答者のうち14.8%が介護保険サービスを利用していると回答しています。

回答内容	人数	割合
利用している	42人	14.8%
利用していない	145人	51.1%
未回答	97人	34.2%
計	284人	100%

問37 該当する要介護度はどれですか？

※問36で「利用している」と答えた人が回答

介護保険サービスを利用している人のうち、要介護度については、「要支援2」及び「要介護4」が19.0%と最も多く、次いで「要介護2」が14.3%となっています。

回答内容	人数	割合
要支援1	1人	2.4%
要支援2	8人	19.0%
要介護1	2人	4.8%
要介護2	6人	14.3%
要介護3	5人	11.9%
要介護4	8人	19.0%
要介護5	4人	9.5%
未回答	8人	19.0%
計	42人	100%

問38 利用し得ている介護保険サービスはどれですか？（複数選択）

※問36で「利用している」と答えた人が回答

介護保険サービスを利用している人のうち、利用している介護保険サービスについては、「施設に通う（デイサービス、通所リハビリテーションなど）」が42.6%と最も多く、次いで施設に泊まる、暮らしている（通所介護、介護老人福祉施設など）」「福祉用具を使う（福祉用具貸与など）」が18.0%となっています。

回答内容	人数	割合
自宅に訪問（訪問介護・訪問看護・訪問入浴介護など）	9人	14.8%
施設に通う（デイサービス、通所リハビリテーションなど）	26人	42.6%
施設に泊まる、暮らしている（通所介護、介護老人福祉施設など）	11人	18.0%
訪問、通い、泊りの組み合わせ（小規模多機能型居宅介護など）	3人	4.9%
福祉用具を使う（福祉用具貸与など）	11人	18.0%
未回答	1人	1.6%
計	61人	100%

福祉に関するアンケート調査 集計結果

調査結果Ⅶ 権利擁護について

問39 あなたは、障害があることで差別や嫌な思いをしたことがありますか？

回答者のうち、44.7%が障害があることで差別や嫌な思いをしたことが「ない」と回答している一方、「ある」と回答した人が25.4%となっており、4人に1人が差別などを感じている状況となっています。

回答内容	人数	割合
ある	72人	25.4%
ない	127人	44.7%
未回答	85人	29.9%
計	284人	100%

問40 どのような場所で差別や嫌な思いをしましたか？(複数選択)

※問39で「ある」と答えた人が回答

差別や嫌な思いをした場所で最も多いのは「外出中(35.0%)」となっており、次いで「学校、仕事場(18.3%)」「住んでいる地域(15.8%)」となっています。

「その他()」としては、「施設」「デイサービス利用時」「役場等」の回答がありました。

回答内容	人数	割合
学校、仕事場	22人	18.3%
仕事を探すとき	9人	7.5%
外出中	42人	35.0%
余暇を楽しむとき	5人	4.2%
病院などの医療機関	12人	10.0%
住んでいる地域	19人	15.8%
その他()	10人	8.3%
未回答	1人	0.8%
計	120人	100%

問41 成年後見制度について知っていますか？

回答者のうち、「名前も内容も知っている(17.6%)」「名前は聞いたことがあるが、内容は知らない(23.9%)」と約4割の人が制度の名前を認知していますが、「名前も内容も知らない(30.6%)」と答えた人も約3割おり、より一層の制度の周知が必要と思われます。

回答内容	人数	割合
名前も内容も知っている	50人	17.6%
名前は聞いたことがあるが、内容は知らない	68人	23.9%
名前も内容も知らない	87人	30.6%
未回答	79人	27.8%
計	284人	100%

福祉に関するアンケート調査 集計結果

調査結果Ⅷ 災害時の避難等について

問42 あなたは火事や地震等の災害時に一人で避難できますか？

火事や地震等の災害時に「一人で避難できる(37.7%)」と回答した人と「一人で避難できない(36.6%)」「ない」と回答した人の割合はほぼ同じで、「わからない(15.1%)」と回答した人も1割を超えています。

回答内容	人数	割合
できる	107人	37.7%
できない	104人	36.6%
わからない	43人	15.1%
未回答	30人	10.6%
計	284人	100%

問43 家族が不在の場合やひとり暮らしの場合、近所にあなたを助けてくれる人はいますか？

ひとりで居るときに、近所に助けてくれる人が「いる」と答えた人は33.8%となっており、「いない(29.9%)」「わからない(23.9%)」と答えた人を合わせると53.9%と約半数が災害時に助けてくれる人が定まっていない状況にあります。

回答内容	人数	割合
いる	96人	33.8%
いない	85人	29.9%
わからない	68人	23.9%
未回答	35人	12.3%
計	284人	100%

問44 火事や地震等の災害時に困ることは何ですか？(複数回答)

災害時に困ると思われることは、「避難場所の設備(トイレなど)や生活環境が不安(18.9%)」と最も多く、次いで「投薬や治療が受けられない(16.4%)」「安全なところまで、迅速に避難することができない(16.3%)」が多くなっています。

回答内容	人数	割合
投薬や治療が受けられない	114人	16.4%
補装具の使用が困難になる	29人	4.2%
補装具や日常生活用具の入手ができなくなる	37人	5.3%
救助を求めることができない	63人	9.1%
安全なところまで、迅速に避難することができない	113人	16.3%
被害状況、避難場所などの情報が入手できない	64人	9.2%
周囲とコミュニケーションがとれない	60人	8.6%
避難場所の設備(トイレなど)や生活環境が不安	131人	18.9%
その他()	6人	0.9%
特になし	36人	5.2%
未回答	41人	5.9%
計	694人	100%

【その他の意見】

○過度なストレスによる体調不良(パニックや過呼吸、起き上がれないめまいなど)を起こす可能性が高く、自力で対処できないと思われる。○感覚過敏があるので、極端に体調が悪くなったり、できなくなることが多くなったりすることが不安 ○睡眠時無呼吸で電気がないと機器が使えなくなり心停止が続く ○コンセントを使うものが使えなくなる(酸素濃縮器など)一応発電機あります。○耳が聞こえにくい ○お金

福祉に関するアンケート調査 集計結果

その他（ご意見・ご要望）

【自分自身のこと・気持ち、生活について】

- 耳が悪いので電話でお話しすることができない。病院に行くのも皆さんから電話をかけてもらいタクシーを頼んでもらっています。耳が悪いのは大変なことです、何にも面白くないです。でも頭はしっかりしていますのでそれだけは取り柄です。
- もう老人なので、介護保険で十分足りています。
- もし将来結婚できなかったら一人暮らしできるかどうか不安です。ただすべて息子に頼るしかありません。他に頼むとしても、お金はかかるので。
- 私は動けなくなったら施設に入りたいと思っています。でも金がかかるのでそれも心配しています。安いところがあったらと考えています。
- 障がい者であることを自分では思っていない。
- 冬季雪かきが大変。
- 自動車の保有
- 今は自分の病気を頑張っているの
- 青森県は短命県といわれているが、大変いいことでないかね！！70代以上になって介護が必要な人は安楽死、尊厳死を奨励すべきでは！！人間必ず死ぬのですからね。そうすれば介護する人の事件もなくなる！！

【障害福祉サービスや支援に対する意見・要望】

- 福祉サービスの手続きや利用のやり方を知りたい。
- 外出時の支援(サービス)をお願いしたいです。
- 入院費の支払いとオムツ代の経費は結構な額となるので、入院中（1か月以上の）でもオムツ代等の介護用品引換券の受給は継続してほしいです。何卒善処をお願いします。
- 「介護用品引換券」の受給資格についてですが、現在1か月以上の期間、施設又は医療機関に入院した時は受給資格の停止となっていますが、入所した施設または入院した病院により異なることは知っていますが、病院の場合はオムツが必要で届けるか「アメニティサービス」で受けるかになっています。
- 障害のある者への介護しやすい生活用品や衣類などを集めた（気軽に行ける）お店があればいいと思う。パンフレットやネット画面では大きさ、サイズがわからない。
- 高齢になってどのようなサービスがうけられるのか。住居も一人で住めるのか疑問です。お金もどのくらい掛かるのか分からずじまいです。介護保険のこともよくわかりません。
- 子育てをしているので、自身の障害により対処しきれないときに相談役となってくれる窓口を続けてほしい。
- 手話を教えられる人が行政でいてほしい。
- 障害者が働ける場所を増やしてほしいです。
- 商店やスーパー（南部町内）で食料品などで重い物を運んでもらうサービスがあればいい。
- 病院(通院)が遠方にあり一人で通院するのが困難です。今は家族が車で送り迎えしてくれていますが、親が高齢になってきたので不安です。何か対策、サービスがあればいいのですが。
- 障害者本人に直接会いに来てほしい。
- 黄斑変性症でほとんど見えない状況ですが障害等級が変わることがありますか？
- 今も通院ですが1級の手帳を出しておりませんのでこれからでも病院に出せば料金が変わりますか？

【その他行政サービス等（障害福祉以外）に対する意見・要望】

- 毎年の南部町民入浴券は、障害者の人たちには利用できません。商品券だと介護用品やパンツその他の商品に利用できませんので、ご検討をお願いいたします。
- 今年のように雪が降ると除雪車には感謝ですが盛り上がった雪を片付けることが大変！また町内の庭の木が道路側に出て道を狭くしている家があります。通れる道が通れず戻ることあり、調査をし注意して下さるのは何課でしょうか。
- ちゅりバスと路線バスの乗り継ぎがうまく行く時刻表にしてほしい。
- 住んでいる地域からのちゅりバスと路線バスとの乗り継ぎがスムーズにできるような時刻の設定。通院時のバス利用、朝の時間帯は乗り継ぎがうまくいくが、八戸からの帰り(昼の時間帯)がうまくいかないときがある。
- 防災無線が聞き取れないがホットするメールで代用している。
災害、救助の通報が早急に伝わるか不安。新築家屋が避難場所付近に多くなってきており避難場所が狭いと思う。
- 家の中にも町の放送がわかる何かを家中へ設置したい！町の放送内容が普段でも聞き取れないことが多い。
- 学校のトイレが和式のため、参観日など学校へ行ったときはトイレを我慢している。学校への洋式トイレの導入が進んでほしいです。
- 困っていることが、ここ数年確定申告(医療費控除)に行けてない。事前の準備がうまくできない。これを助けてもらうのにどうしたらよいかわからない。

福祉に関するアンケート調査 集計結果

【窓口対応等に対する意見・要望】
○障害福祉サービス、行政の取り組み、大変良くやっているといます。 ○役場の福祉課の皆さんにとっても優しく助けてもらっていて感謝しています。ありがとうございます。 ○介護サービスの認定を受けるのに手間がかかりすぎる。申請してから1カ月位かかる。もっとスムーズに出来ないものだろうか。 ○障害福祉で対応をてきとうにあしらわないでもらいたい。福祉の勉強不足だと思います。 ○人事異動があり大変なことと思いますがその係についたらこちらの質問にスムーズに答えて下さると助かります。詳しく調べてみますので少しお待ちください等一言あればこちらも安心できます。 ○福地支所で精神通院の自立支援医療の更新手続きをしているのですが職員の手際が良くありません。3か月前から手続きができるので8月になったらファイルのマニュアルを頭の中にしっかり入れて対応してほしいものです。 ○福地分庁舎へ相談へ行ってもきちんとした挨拶ができない女性。困っているのにやる気のない態度。これは以前からありましたが、町の顔ではないですか？だから福地の所は役に立たないといわれるのだと思います。老いてくると身体が不自由になって健康センターまでは用事をたすことができなくなるのではと心配です。今は何でもできるけど、これから高齢者が多くなるので福祉の事がとても気になるところです。福地にも福祉の事でわかる人が常勤又は日数居てくれたら安心できるのかな？
【アンケートについての意見】
○アンケートの内容がよく理解できませんでした。回答未記入多いです、すみません。 ○質問が何をこたえればよいのか、希望の答えが無い所でこの回答でよかったのか不安。（問8, 9, 27, 34, 42, 43）